

## お取引先とともに

日本化薬グループは、お取引先の皆さまと積極的にコミュニケーション活動を行っています。

### サプライチェーンマネジメント

日本化薬グループはCSR経営に即した購買活動を行うため購買理念、購買基本方針を定め、これに従って購買活動を行います。サプライヤーの皆さまとともにCSRに取り組んでいきます。

#### CSR調達への取り組み

日本化薬グループは、サプライチェーンの皆さまとともに持続可能な社会の実現を目指し、人権尊重、環境保全、労働安全衛生、法令遵守、公正取引など、CSRに配慮した調達活動を推進しています。CSR経営に即した購買活動を行うため、購買理念、購買基本方針を定め、これに従い購買活動を行っています。

#### 購買理念

日本化薬グループは、**KAYAKU spirit** を実現するために、『お取引先は最良の製品づくりの大切なビジネスパートナー』と考え、お取引先と相互の持続的な発展を目指していきます。

当社グループの購買活動は、法令や社会規範を遵守し、購買基本方針に基づき公平・公正に、そして誠実な取引を行います。

# 購買基本方針

## 法令・規範の順守、行動基準との適合性

1. 日本化薬グループは、購買活動の実施に際し、関連法令や規範を遵守いたします。
2. 日本化薬グループは、購買活動の適格性に関して、日本化薬グループの行動規範である、日本化薬グループ行動憲章・行動基準、グループ行動指針に基づいて判断いたします。

## 門戸の解放、公正・公平な取引、取引の透明性

3. 日本化薬グループは、購買活動の執行に際し、国内外のお取引先に広く門戸を開放し、公正・公平な取引を行います。
4. 日本化薬グループは、お取引先と相互理解と信頼関係に基づくパートナーシップを構築し、お互いの持続的な発展を目指して参ります。
5. 日本化薬グループは、資材業務規程に従い電子的購買システムまたは文書により適正な手続きにて購買活動の透明性を確保します。

## 情報の保護

6. 日本化薬グループは、業務上取得したお取引先に関する情報を適切に保護し、漏洩防止に努めます。

## 地球環境への配慮

7. 日本化薬グループは、地球環境に配慮した商品、原材料の調達を推進します。

## 取引先選定に関する基本方針

8. 日本化薬グループは、品質・価格・納期等の経済性と共に、お取引先の経営基盤、技術競争力、安定供給力等を考慮して商品・原材料を選定します。
9. 日本化薬グループは、お取引先の選定に際し、法令・規範の遵守、人権の尊重、労働環境への配慮、防災・安全への取り組み、環境保全への取り組み等 CSR への取り組みも考慮いたします。

## BCPへの取り組み

10. 日本化薬グループは、お取引先の選定に際し、サプライヤーのBCP(Business Continuity Plan)等のリスク管理体制の有無を考慮いたします。

## CSR調達の推進

日本化薬グループは持続可能な社会を実現するために「日本化薬グループの行動憲章」や「購買理念」、「購買基本方針」をCSR調達ガイドブックとしてガイドラインを定め、多くのサプライヤーの皆さまに賛同を得られるよう推進しています。

研究・開発から原材料の調達、製造、販売、物流までのサプライチェーンすべてのビジネスパートナーの皆さまと一緒に人権尊重をはじめ環境保全、労働安全衛生、法令遵守、公正取引などに配慮したCSR調達を推進しています。

サプライヤーの皆さまにご理解いただくために説明会や、日常のコミュニケーションや商談の場を通して、当社のCSR調達方針に賛同いただけるよう努めています。

今後もサプライチェーン全体で社会的責任を履行し、持続可能な社会の実現のため、お客様に愛され親しまれるようビジネスパートナーの皆さまとの連携強化に努めます。

[> CSR調達ガイドブック](#)

## 取引先の環境面と社会面のアセスメント

2020年度も2019年度に引き続き、一定額以上の取引があった取引先（約850社）を対象にCSRアンケートを実施しました。取引先の環境保全の取り組みを確認し、回答いただいた取引先（281社）においては、マイナス環境インパクトがないことを確認しました。また、社会的な取り組みとしてハラスメント、差別、強制労働、不適切な労働時間や賃金などの反社会的行為等がないことを確認しました。今後もリスク管理の一環として、これらの活動を継続していきます。

### BCP（事業継続計画）調達への取り組み

日本化薬では日頃からサプライチェーンでの災害や事故情報の入手に努めており、情報を入手した際は即、社内のデータベースにて情報を共有するとともに、直ちに該当原産国やメーカーの原材料一覧をピックアップし、在庫、調達への影響、工場の再開状況、製造への影響を確認しています。BCP対策として多くの品目が複数購買化されていますが、さまざまな状況に対応するため、さらに取り組みを強化していきます。

## 日本化薬と医療機関等との関係における透明性に関する取り組み

### 日本化薬と患者団体との関係の透明性に関する取り組み

日本化薬は、医薬品等の提供を通じて皆さまの健康向上に貢献するため、研究者、医療関係者、患者団体等と相互の信頼関係を構築し、医学・薬学の基礎研究、臨床開発、製造販売後の情報提供・収集活動、安全対策の実施などの多様な活動を展開しています。創薬や医薬品の適正使用を推進するために発生する費用については医療機関等と適切に契約を締結し、適正な対価を支払っています。また、薬機法をはじめとする法規制は製薬協企業行動憲章、製薬協コード・オブ・プラクティス、医療用医薬品プロモーションコード、医療用医薬品製造販売業公正競争規約などの業界自主規範を遵守しています。しかし、このような法令遵守体制に基づく企業活動を推進しても、当社から医療機関等への寄附金や対価の支払いが存在するため、それらが医療関係者等の判断に何らかの影響を及ぼしているのではないかと、との懸念を抱かれている可能性は否定できません。

製薬産業をはじめとする生命関連産業は、他の産業以上に、高い倫理性とその活動の透明性が求められることを踏まえ、日本化薬は医療機関、患者団体等に対する資金提供の情報をウェブサイト上で公開するための指針を作成し、支払い情報も公開しています。

[> 日本化薬と医療機関等との関係の透明性に関する取り組み](#)

[> 日本化薬と患者団体との関係の透明性に関する取り組み](#)

### セイフティシステムズ事業 購買説明会の開催

セイフティシステムズ事業では、日頃お世話になっている協力会社を対象に、年に一度「購買説明会」を実施しています。これは、当社グループの業績見込みや次年度以降の事業計画、生産体制の現況、開発計画、中長期ビジョン、購買方針を説明し、これらを協力会社の事業計画の参考情報の一つとしていただくことを目的としています。

当社を含め自動車産業のサプライチェーンを担う協力会社は、めまぐるしく変化する国内・国際情勢、原材料相場、為替変動などの外的環境に即応しながら、顧客に遅延を起こすことなく、高品質・低コストの製品を供給し続けなければなりません。この購買説明会が貴重な情報交換の場となるよう有益な情報を提供することを心がけています。

また、品質・コスト・納期に模範的な対応をとっていただいた協力会社に、「優秀協力会社賞」を進呈しています。



2019年度の実施風景

## 機能化学品事業 オンライン展示会に初出展

2020年10月19日～11月18日、当社開発品を「ケミカルマテリアルJapan2020-ONLINE-」に出展しました。本展示会は化学産業領域を対象とする日本で唯一の総合展示会であり、例年パシフィコ横浜で開催されておりました。

今年度はCOVID-19の影響によりWeb開催の運びとなり、機能性材料事業部の開発品であるエポキシ樹脂、マレイミド樹脂、アクリレート樹脂、光塩基発生剤、MEMS製品、樹脂組成物、クリーナー製品、並びに新事業開発センターの開発品である透明遮熱フィルム、中空酸化チタンを展示しました。

成果としましては、2,000名近くの方に弊社ブースをご訪問いただき、半数以上の方が当社資料をダウンロード下さいました。

展示物に関してたくさんのお問い合わせを頂戴しておりまして、非常に多くのお客様に当社並びに当社製品を認知いただく機会になったと感じております。

機能化学品事業本部企画部及び機能性材料事業部は、より多くのお客様に当社の製品を使用していただけるようにDXを導入しました。

これによって多くの方がご訪問いただいた本展示会でも見込み顧客を絞ることが可能となり、より効率的な営業活動を行うことができております。



## 緊急時への対応

### 通報訓練

アグロ事業では、野菜類の栽培で病虫害から作物を守るために土壌の消毒に使う、「クロールピクリン」を有効成分とする「カヤククロールピクリン」「ドジョウピクリン」「クロピクフロー」などの製剤を扱っています。

2020年11月の訓練では、ドジョウピクリンを積載したトラックが、高速道路上で横転し、ドジョウピクリンが落下、漏えいしたことを想定した「クロールピクリン物流事故緊急応援出動通報訓練」を実施しました。協定会社、協力事業場と連絡を取り合いながら、事故現場の確認、FAX送信、緊急車両の手配、緊急出動班による緊急車両への機材積込みと、本番さながら真剣に取り組みました。

> [日本化薬グループのBCPへの取り組み](#)



通報訓練の様子